

I 和漢診療科後期研修プログラム

II 研修プログラムの目的及び特徴

本プログラムにおいては、漢方専門医の育成と教育を目的とした研修を行う。日本東洋医学会認定漢方専門医を取得するためには、日本専門医認定機構の定める基本領域に属する学会の認定医あるいは専門医を取得する必要があるため、本プログラムにおいては、関連病院あるいは大学病院にて内科を中心とする研修を行い、日本内科学会認定内科医を最初に取得する。その後、日本東洋医学会の定める研修施設において3年以上の和漢診療学の臨床研修を行い、日本東洋医学会認定漢方専門医を取得する。これにより、東洋医学と西洋医学の両方の視点を持つ医師を育成することが可能となり、現代医療における幅広いニーズに対応することができると考えている。

III 研修プログラム責任者、連絡担当者

研修責任者：和漢診療科 並木隆雄

連絡担当者：医局長 平崎能郎

Tel : 043-226-2984 E-mail : hrskysshr@chiba-u.jp

IV 研修指導医

並木隆雄（准教授、日本東洋医学会認定漢方専門医・指導医、日本内科学会総合内科専門医、循環器専門医、不整脈学会認定不整脚専門医）

平崎能郎（特任講師、日本東洋医学会認定漢方専門医、日本東洋医学会指導医）

V 研修課程

1 研修時間割

3年次：大学病院にて研修（和漢診療学および内科）

4～5年次：関連病院または大学病院にて内科研修

この間に日本内科学会認定内科医を取得する

6～8年次：大学病院または関連病院にて和漢診療学研修

この間に日本東洋医学会認定漢方専門医を取得する

2 関連病院

- ・船橋中央病院（千葉県船橋市）（出張病院）：内科、和漢診療
- ・千葉労災病院（千葉縣市原市）：和漢診療
- ・東京女子医大八千代医療センター（千葉県八千代市）：和漢診療

3 大学病院での週間スケジュール

曜 日	午 前	午 後
月曜日	勉強会（朝）・病棟業務	病棟カンファレンス
火曜日	勉強会（朝）・外来見学	病棟業務
水曜日	勉強会（朝）・病棟業務	病棟業務
木曜日	勉強会（朝）・外来見学	総回診・抄読会・東洋医学自由講座
金曜日	勉強会（朝）・病棟業務	病棟業務

4 研修内容と到達目標

一般臨床内科医として内科研修を行い、日本内科学会認定医を取得した後に、本格的な和漢診療学の研修を行う。すなわち、和漢診療学の特徴、基本的概念（陰陽・虚实、表裏・寒熱、気血水、五臓等）、診察方法（脈診・舌診・腹診）、証、随証治療等について理解し、病棟で煎じ薬を中心として和漢診療を実践する。指導医による直接指導・講義も随時行われる。診断は西洋医学的に的確に行い、東洋医学および西洋医学的視点から全人的に患者を把握し治療することを目標とする。

VI 評価

日本内科学会認定内科医 4年次あるいは5年次

日本東洋医学会認定漢方専門医 7年次以降

VII 研修終了後の進路

大学病院あるいは関連病院の勤務が可能。あるいは、大学院に進学し学位を取得することができる。